



2020年12月期第3四半期 決算説明資料

2020年11月
株式会社セレス（東証第一部：3696）





1. ビジョンとビジネスモデル
2. 連結決算の概要
3. 成長戦略と事業概要
4. APPENDIX



1. ビジョンとビジネスモデル

インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。

モバイルから生活を豊かに

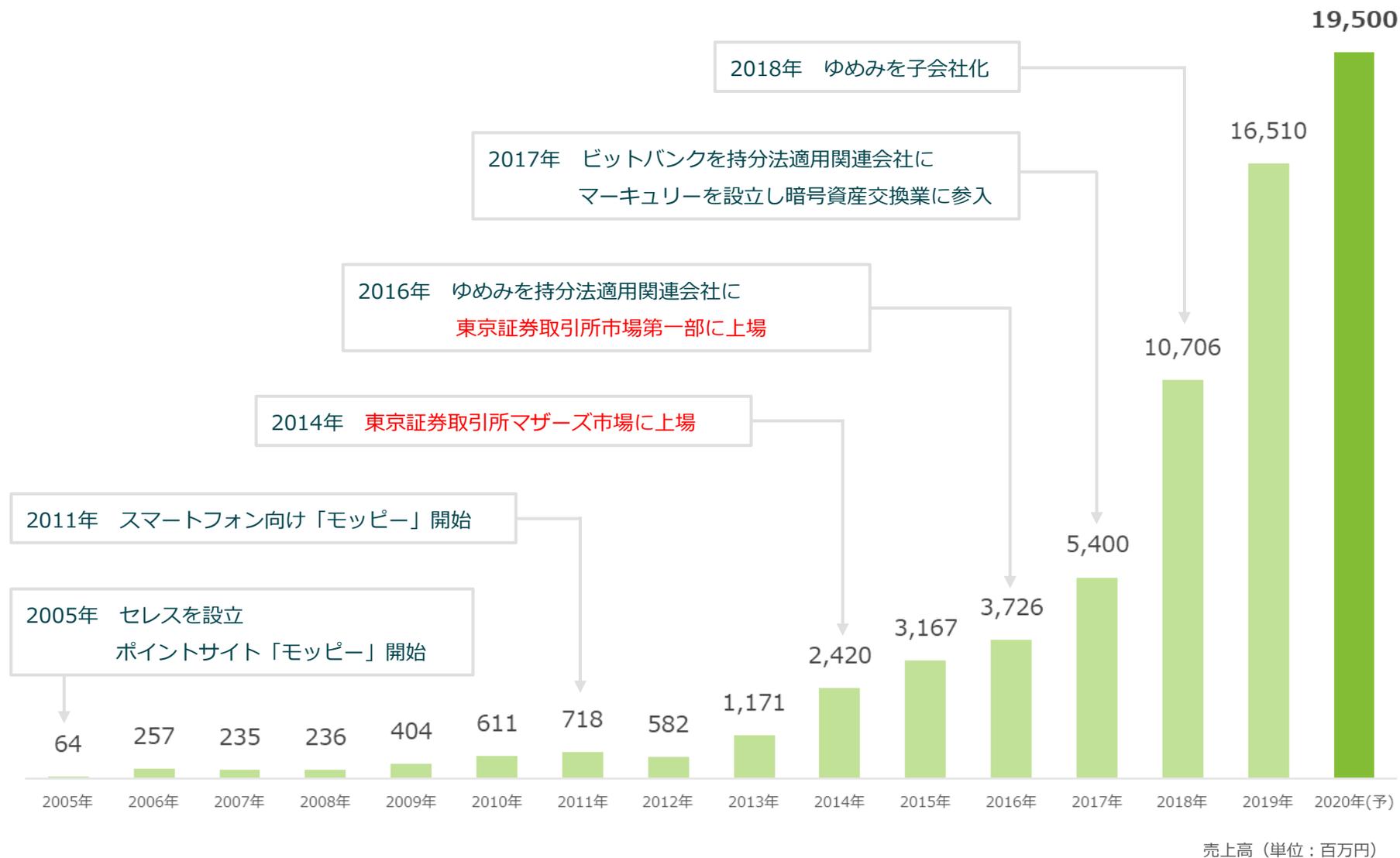


ceres

CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穰の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

会社名	株式会社セレス
設立年月日	2005年1月28日
所在地	東京都世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエア タワー24F
決算	12月
資本金	18億4,873万円（2020年9月末現在）
代表者	代表取締役社長 都木 聡
役職員数（連結）	414名（2020年9月末／臨時雇用者含む）
事業内容	モバイルサービス事業 フィナンシャルサービス事業
連結子会社	株式会社ゆめみ、株式会社マーキュリー、株式会社バックラス、株式会社四季デザイン
持分法適用関連会社	ビットバンク株式会社

セレスの沿革



セレスの事業領域と主要サービス

ポイントメディア・アフィリエイトプログラムを中心とした「モバイルサービス」と「フィナンシャルサービス」の2セグメントより構成

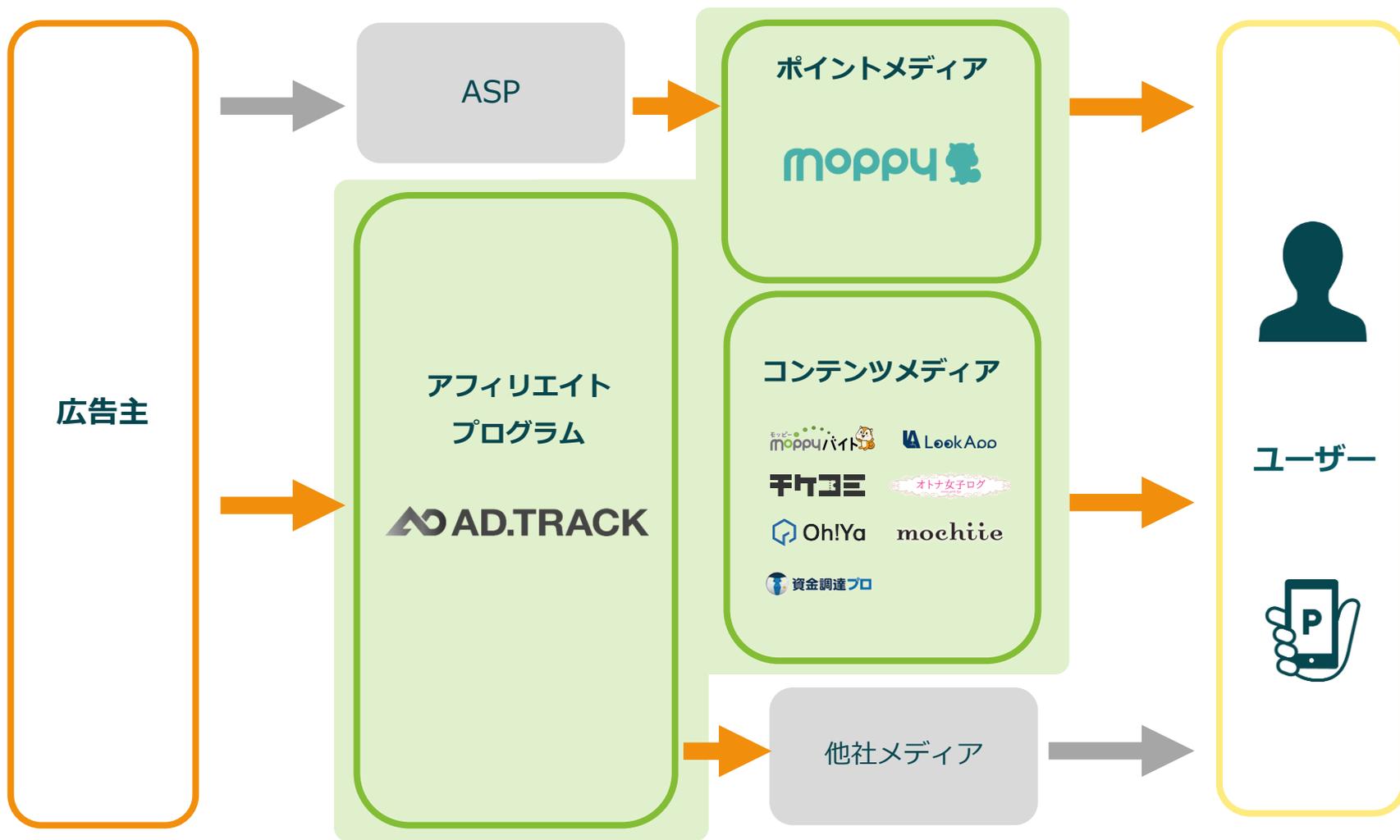
■ モバイルサービス事業

ポイントメディア	
アフィリエイトプログラム	
コンテンツメディア	
デジタルトランスフォーメーション(DX)	

■ フィナンシャルサービス事業

ブロックチェーン関連	
ファクタリングサービス	
投資育成事業	

モバイルサービスの事業領域





2. 連結決算の概要

連結業績予想の上方修正について

(単位：百万円)	2020年12月期 3Q累計実績	2020年12月期 期初予想	2020年12月期 修正予想	期初予想 増減額	期初予想 増減率
売上高	14,581	18,500	19,500	+1,000	+5.4%
営業利益	1,248	1,050	1,400	+350	+33.3%
経常利益	1,307	1,000	1,400	+400	+40.0%
当期純利益	647	400	700	+300	+75.0%
1株当たり 当期純利益	58円44銭	36円14銭	63円26銭	—	—

- 売上高 アフィリエイトで美容・アパレル分野のECの広告が好調に推移
コンテンツメディアで記事広告型メディアが回復し増収に貢献
- 営業利益 ポイントのコスト見直しにより利益率の改善
子会社ゆめみの業績好調
今期に計上を予定していたマーキュリーの開業費用の期ズレ
来期以降の売上拡大に向けた投資を強化

損益計算書の概要（第3四半期累計）

（単位：百万円）	2020年12月期 第3四半期	2019年12月期 第3四半期	前年同期比
売上高	14,581 (100.0%)	12,033 (100.0%)	+21.2%
売上総利益	4,296 (29.5%)	3,848 (32.0%)	+11.6%
販売費及び一般管理費	3,047 (20.9%)	3,221 (26.8%)	-5.4%
営業利益	1,248 (8.6%)	627 (5.2%)	+99.0%
経常利益	1,307 (9.0%)	648 (5.4%)	+101.5%
当期純利益（※1）	647 (4.4%)	214 (1.8%)	+201.0%
EBITDA（※2）	1,458 (10.0%)	862 (7.2%)	+69.2%

※1：当期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2：EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

セグメント別売上高(第3四半期累計)

(単位：百万円)	2020年12月期 第3四半期累計	2019年12月期 第3四半期累計	前年同期比
売上高	14,581 (100.0%)	12,033 (100.0%)	+21.2%
モバイルサービス事業	14,583 (100.0%)	11,895 (98.9%)	+22.6%
ポイントメディア	4,172 (28.6%)	3,978 (33.1%)	+4.9%
アフィリエイト	6,118 (42.0%)	3,608 (30.0%)	+69.6%
コンテンツメディア	2,067 (14.2%)	2,194 (18.2%)	-5.8%
ゆめみ	2,225 (15.3%)	2,114 (17.6%)	+5.3%
フィナンシャルサービス事業	5 (0.0%)	181 (1.5%)	-96.8%
セグメント間の内部売上高又は振替高	-7 (-)	-43 (-)	—

売上高は前年同期比21.2%増収の14,581百万円

- ・ポイントは3Qもコロナの影響を受け広告出稿抑制が続き4.9%増にとどまる
- ・アフィリエイトはコロナの影響による巣ごもり需要が継続し69.6%増
- ・コンテンツは記事広告型メディアの運用方法の改善により減収幅が5.8%に縮小

営業利益は前年同期比ほぼ2倍の1,248百万円

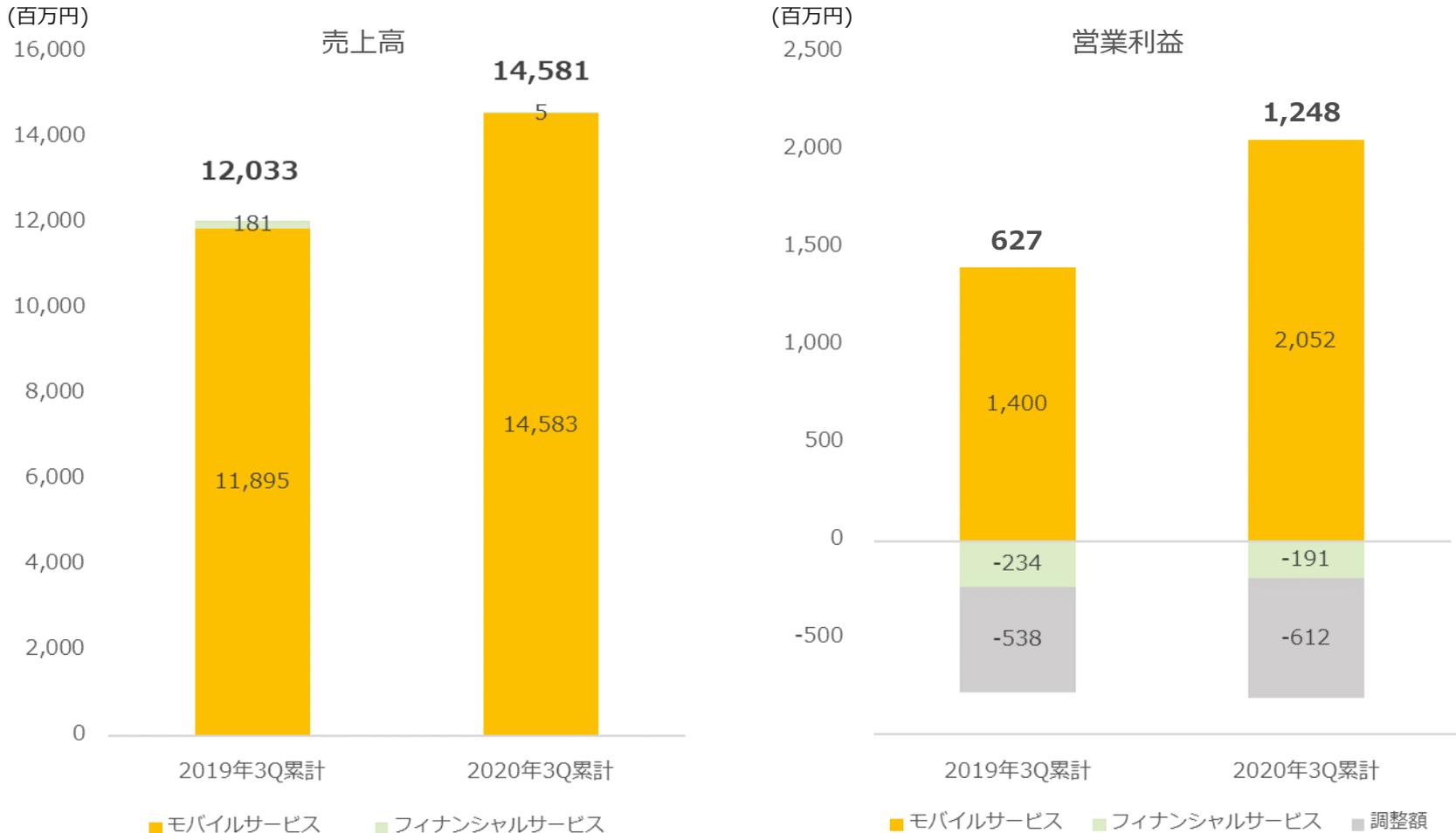
- ・モバイルはポイント、アフィリエイトの増収効果が営業利益を押し上げる
- ・ゆめみは収益性の高い案件比率の高まりにより310百万円の黒字で増益に貢献
- ・フィナンシャルはマーキュリーへの継続投資等で191百万円の赤字

純利益は前年同期比3倍超の647百万円

- ・経常利益は増収効果と暗号資産評価益等により前年同期比101.5%増
- ・純利益は前年に計上した特別損失246百万円の解消と経常増益により201.0%増
- ・EBITDAは前年同期比69.2%増の1,458百万円と稼ぐ力は好調に推移

セグメント情報(第3四半期累計)

モバイルは各メディアの増収に伴い前年同期比22.6%増収、46.5%増益
 フィナンシャルはマーキュリーへの継続投資で赤字継続



※セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2020年12月期 第3四半期末	2019年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産		10,263 (69.2%)	8,342 (64.7%)	+1,921	現金及び預金 +1,661 営業投資有価証券 +471 受取手形及び売掛金 -173
	固定資産	4,562 (30.8%)	4,560 (35.3%)	+1	投資有価証券 +180 関係会社株式 -72 のれん -75
資産合計		14,825 (100.0%)	12,902 (100.0%)	+1,923	
流動負債		5,876 (39.6%)	4,710 (36.5%)	+1,165	借入金 +707 未払法人税等 +275 ポイント引当金 +270
	固定負債	1,753 (11.8%)	1,610 (12.5%)	+143	長期借入金 +241 社債 -95
負債合計		7,629 (51.5%)	6,320 (49.0%)	+1,308	
純資産合計		7,196 (48.5%)	6,581 (51.0%)	+614	四半期純利益 +647 その他有価証券評価差額金 +143 配当金 -154
負債・純資産合計		14,825 (100.0%)	12,902 (100.0%)	+1,923	

損益計算書の概要（第3四半期）

（単位：百万円）	第3四半期 （2020年7-9月）	前年同期 （2019年7-9月）	前年同期比	第2四半期 （2020年4-6月）	前四半期比
売上高	4,983 (100.0%)	4,278 (100.0%)	+16.5%	4,993 (100.0%)	-0.2%
売上総利益	1,831 (36.7%)	1,260 (29.5%)	+45.2%	1,150 (23.0%)	+59.1%
販売費及び 一般管理費	1,391 (27.9%)	1,015 (23.7%)	+37.0%	843 (16.9%)	+65.1%
営業利益	439 (8.8%)	244 (5.7%)	+79.5%	307 (6.2%)	+42.9%
経常利益	492 (9.9%)	106 (2.5%)	+363.8%	303 (6.1%)	+62.4%
四半期純利益（※1）	261 (5.3%)	-214 (-)	—	82 (1.6%)	+218.5%
EBITDA（※2）	562 (11.3%)	185 (4.3%)	+203.5%	310 (6.2%)	+81.4%

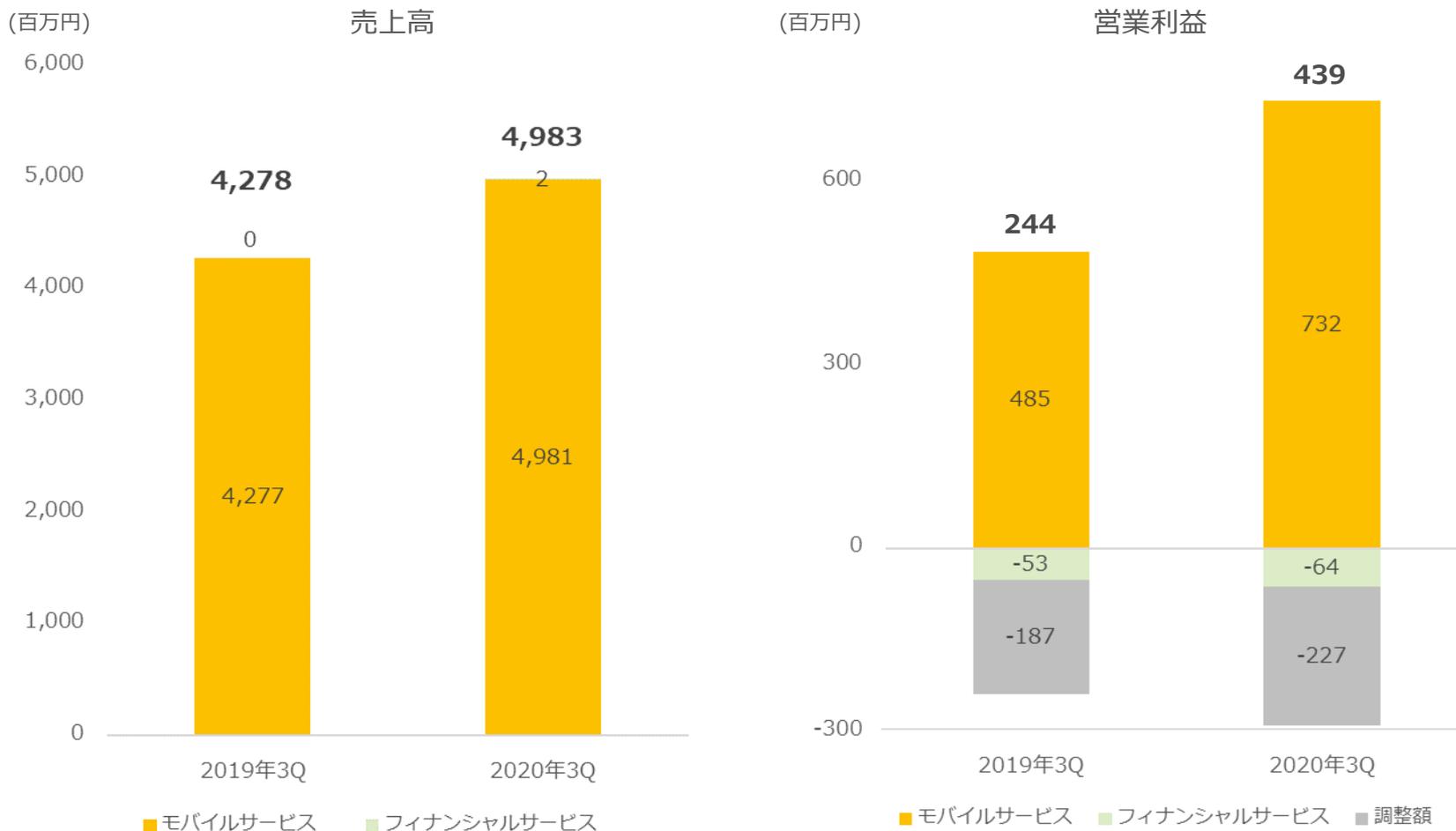
※1：四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2：EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

セグメント別売上高(第3四半期)

(単位：百万円)	第3四半期 (2020年7-9月)	前年同期 (2019年7-9月)	前年同期比
売上高	4,983 (100.0%)	4,278 (100.0%)	+16.5%
モバイルサービス事業	4,981 (100.0%)	4,277 (100.0%)	+16.4%
ポイントメディア	1,192 (23.9%)	1,269 (29.7%)	-6.1%
アフィリエイト	1,887 (37.9%)	1,597 (37.3%)	+18.1%
コンテンツメディア	1,113 (22.3%)	673 (15.7%)	+65.3%
ゆめみ	788 (15.8%)	737 (17.2%)	+7.0%
フィナンシャルサービス事業	2 (0.0%)	0 (0.0%)	+440.7%
セグメント間の内部売上高又は振替高	-0 (-)	- (-)	-

モバイルはコンテンツメディア売上の拡大により増収増益 フィナンシャルはマーキュリーの投資継続で赤字の64百万円

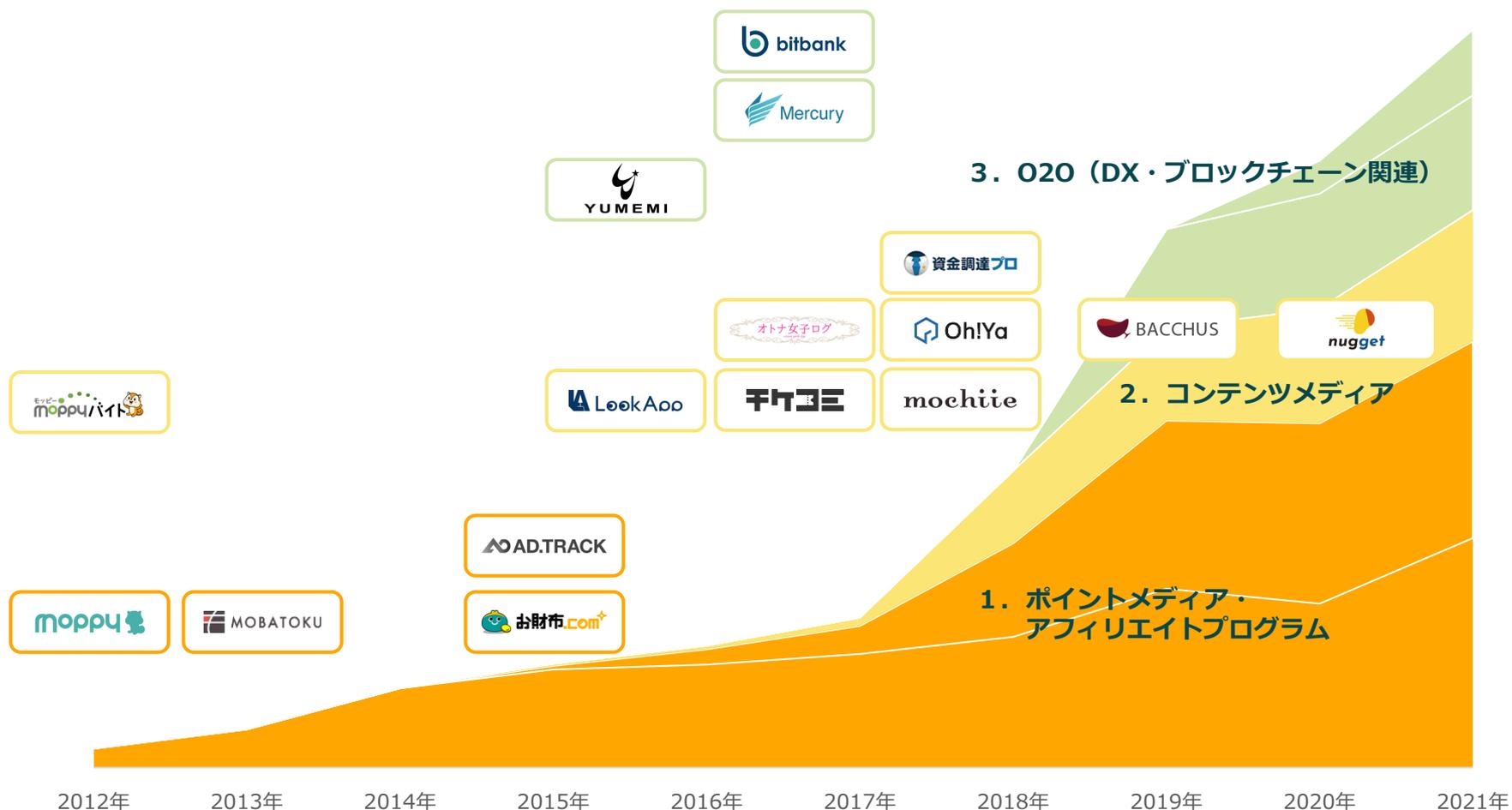


※セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記していません。



3. 成長戦略と事業概要

「ポイントメディア+a」への投資を継続、中長期成長へ

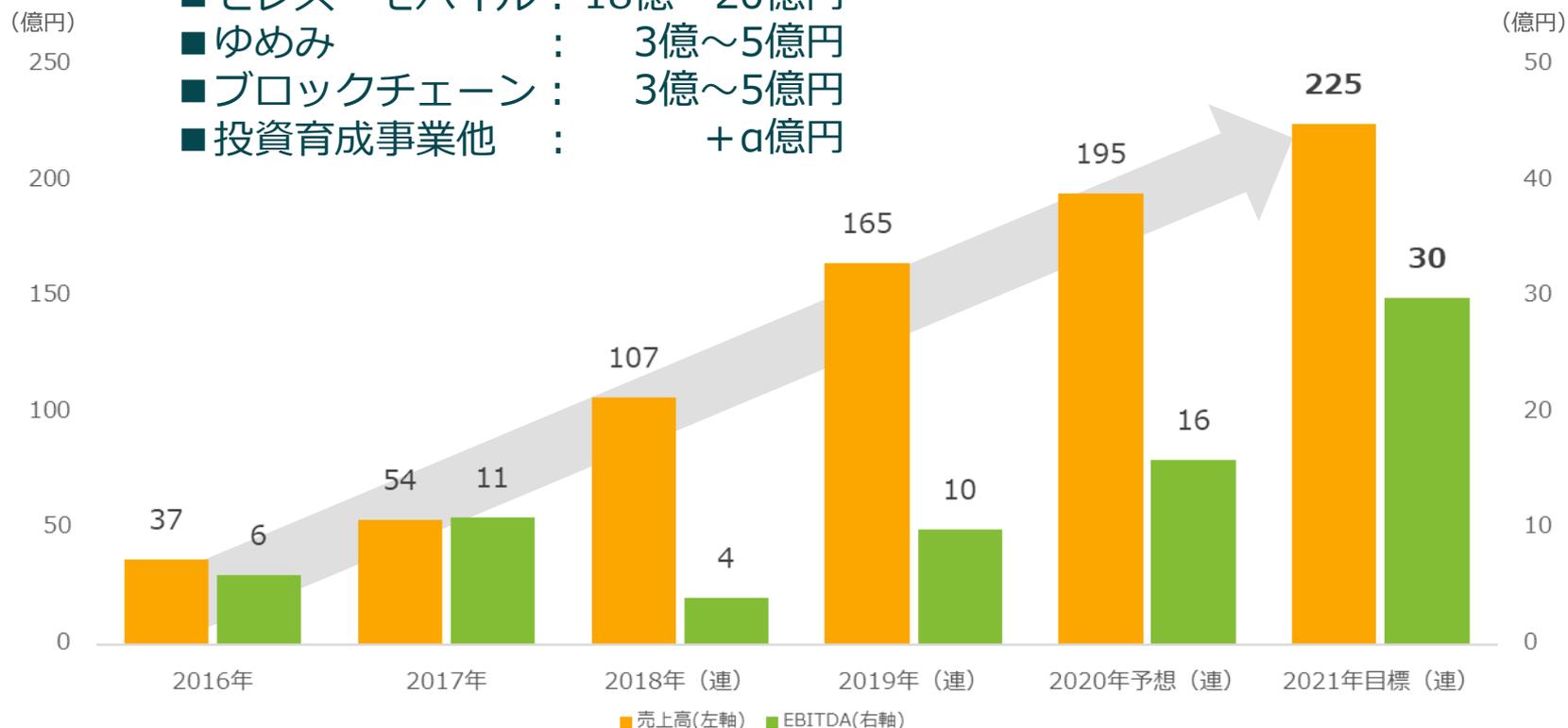


2021年（5カ年計画最終年度）

売上高: **225億円** 利益(EBITDA) : **30億円**

EBITDA30億円達成イメージ

- セレス・モバイル : 18億~20億円
- ゆめみ : 3億~5億円
- ブロックチェーン : 3億~5億円
- 投資育成事業他 : +α億円



※ : EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費 (持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失
 ※ : 2018年におけるEBITDAの数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。



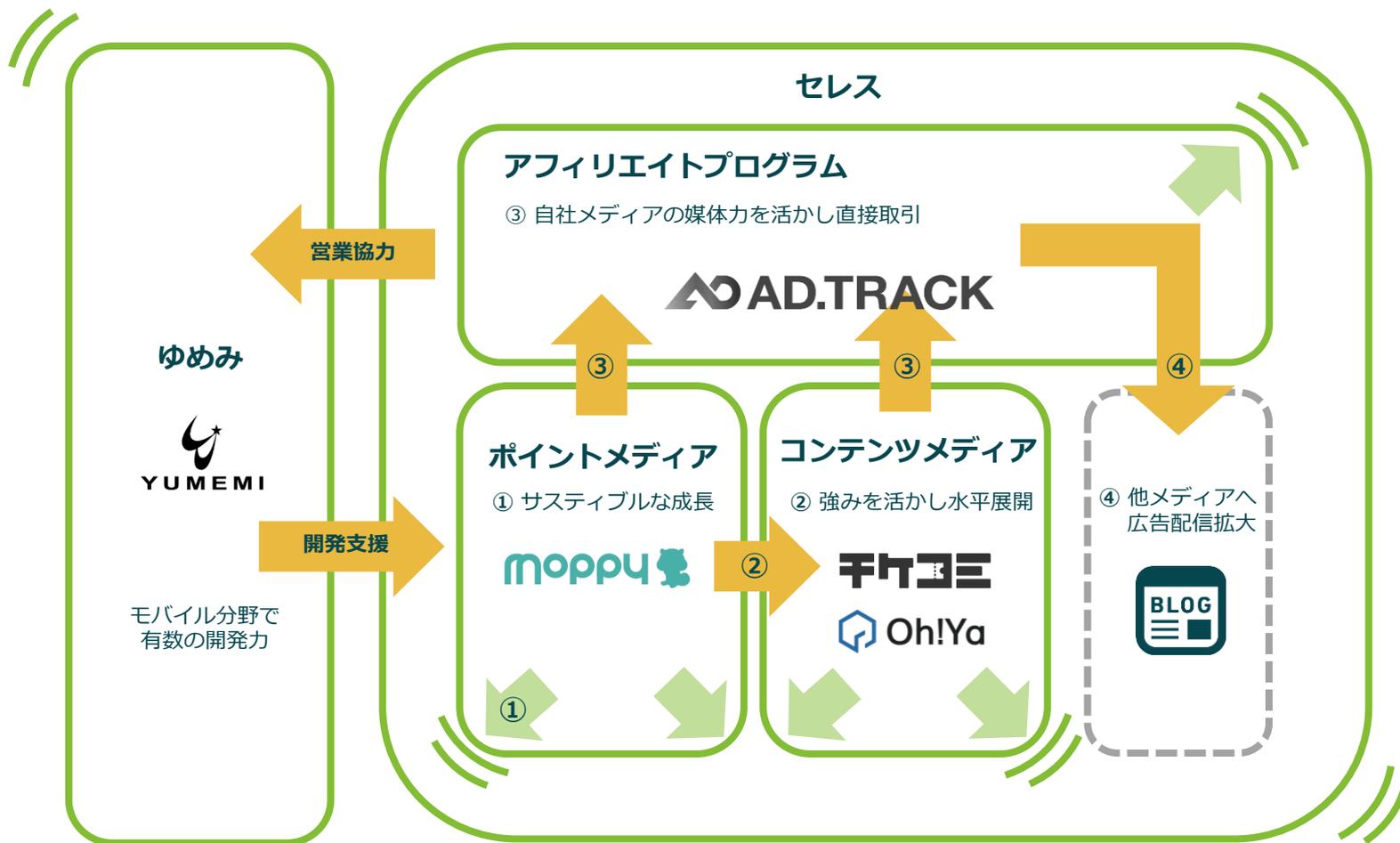
セレス モバイルサービス (ゆめみ除く) CAGR : 52.8%



セレス ポイントメディア CAGR : 20.4%

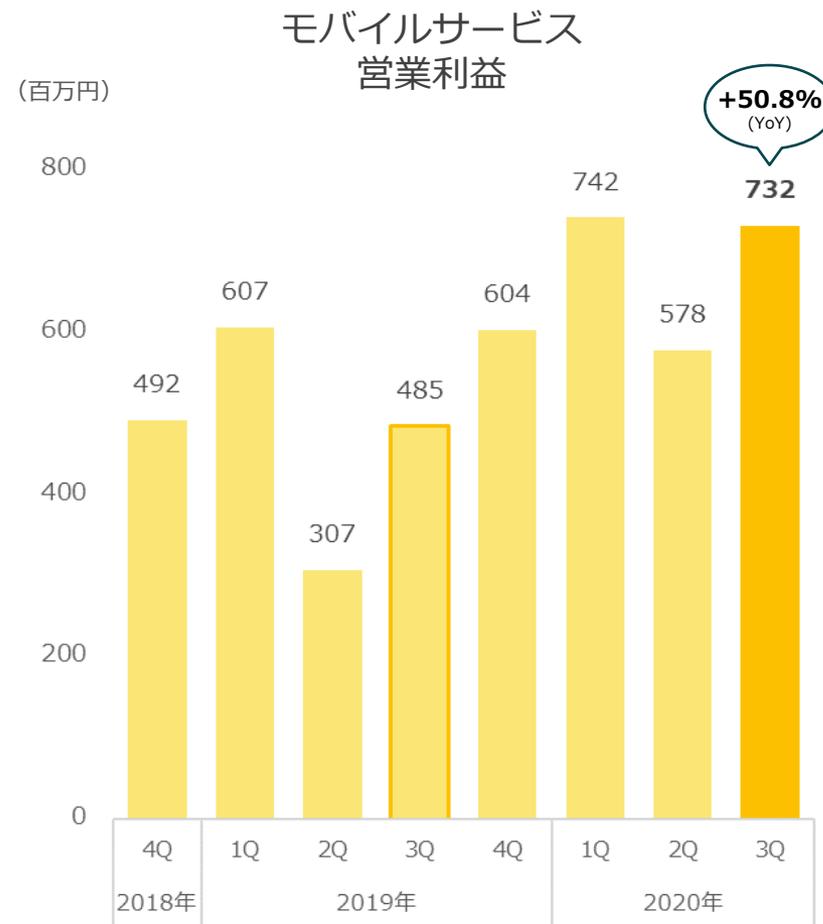
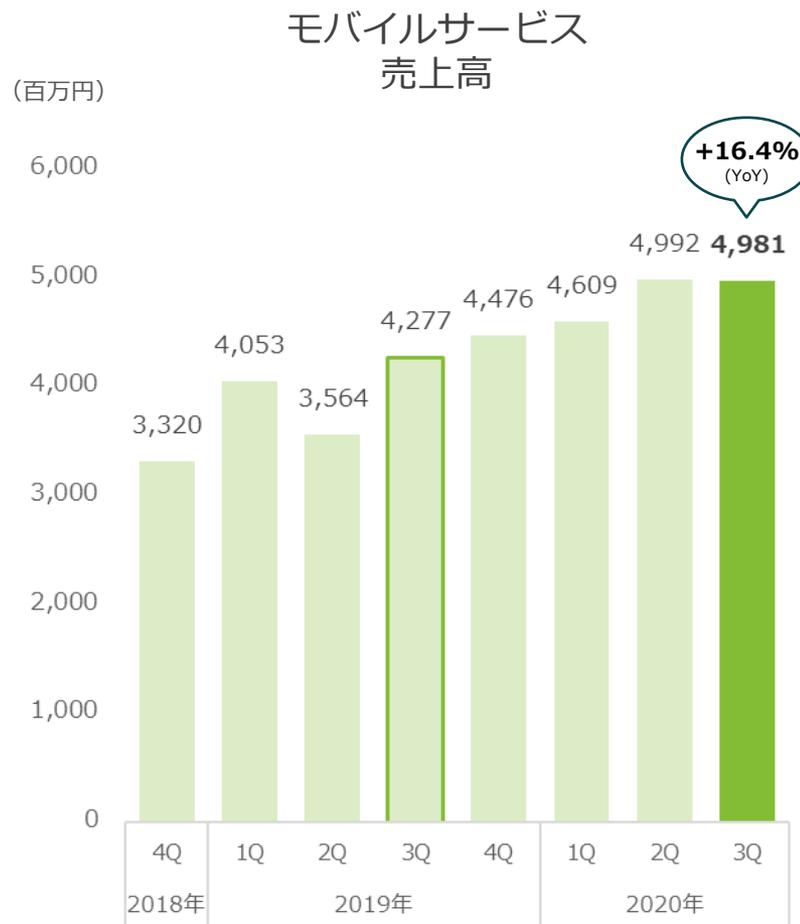


モバイルサービス事業の成長イメージ

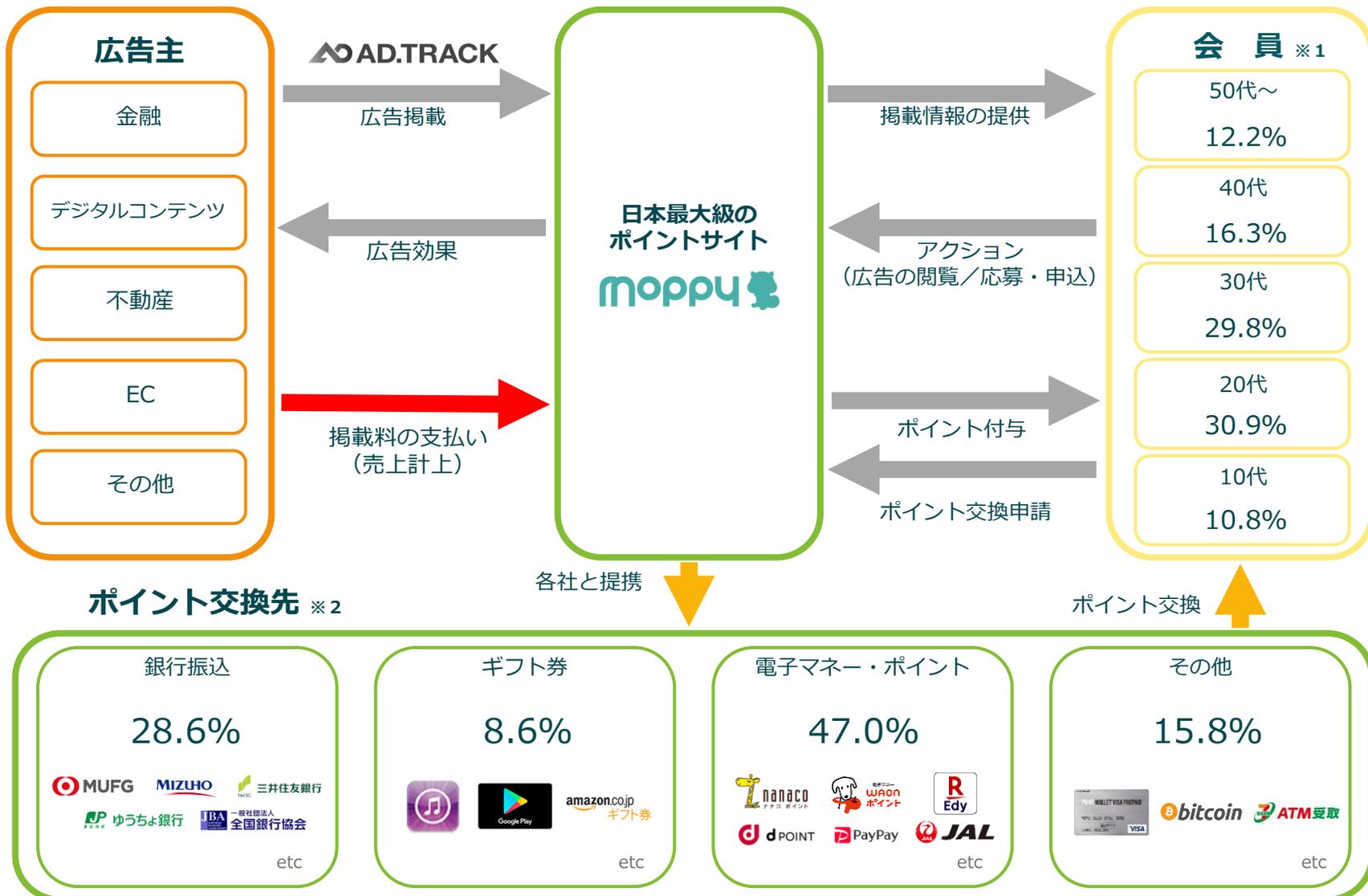




アフィリエイトと記事広告型メディアの売上拡大により16.4%増収 ポイントとコンテンツが収益の改善に貢献し50.8%増益



ポイントメディアについて

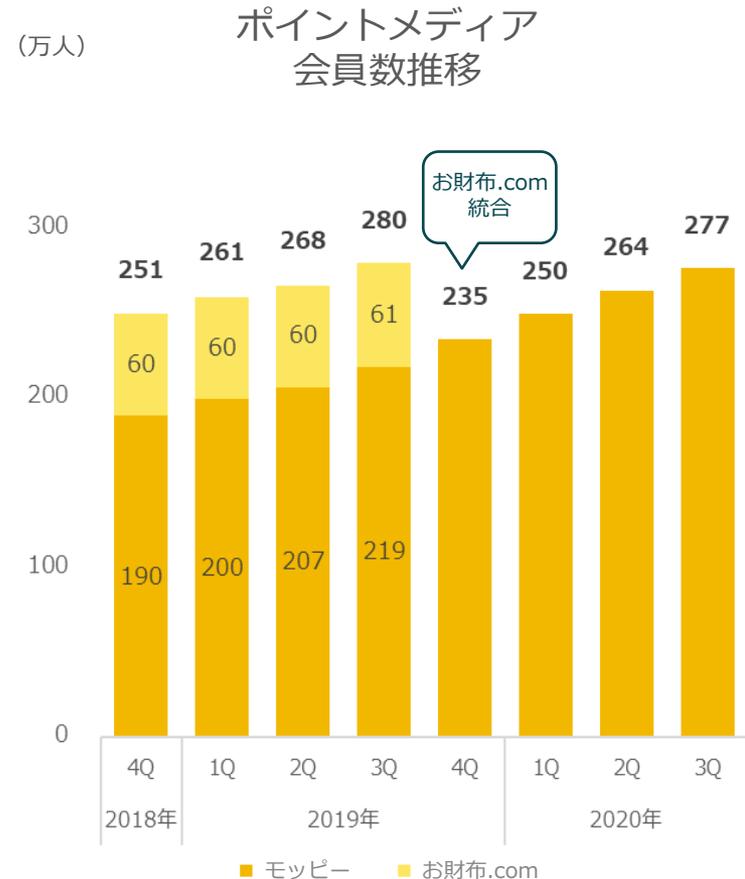


※ 2 : 2020年7~9月に発生したポイント交換割合

※ 1 : 2020年9月末日時点の割合

ポイントメディアの業績推移

売上高はコロナの影響による広告出稿抑制が残り前年同期比6.1%の減収
 広告出稿量、広告単価ともに7月を底に緩やかな回復傾向に



※集計方法の見直しにより、過去決算説明資料で開示していた数字を修正しています。

ポイントサイトの収益 = 会員数 × ARPU

アプリ経由の新規流入は順調

- ・7月～9月のダウンロード数は約15万人

フィンテック機能の追加

- ・ブランドプリペイド決済機能
- ・リアル店舗でのNFC決済機能
- ・アプリユーザー間のポイント送金
- ・後払いプリペイドチャージ機能

第1フェーズ 第2フェーズ 第3フェーズ

2020年7月
従来サービスの
アプリ化

2021年以降
フィンテック
機能の追加

利便性の向上
により大幅な
収益貢献

2020年6月
有効会員数
264万人

2022年末計画
有効会員数 460万人
ARPU成長 20%以上

ポイ活意識調査で モッピー4位にランクイン

貯めているポイントサービスランキング

単位：人(n=500)

1位	楽天ポイント	179
2位	dポイント	76
3位	Tポイント	38
4位	モッピー(★)	34
5位	Pontaポイント	21
6位	PayPayボーナス	17
7位	WAONポイント	15
8位	LINEポイント	14
9位	ハピタス(★)	10
10位	永久不滅ポイント	8

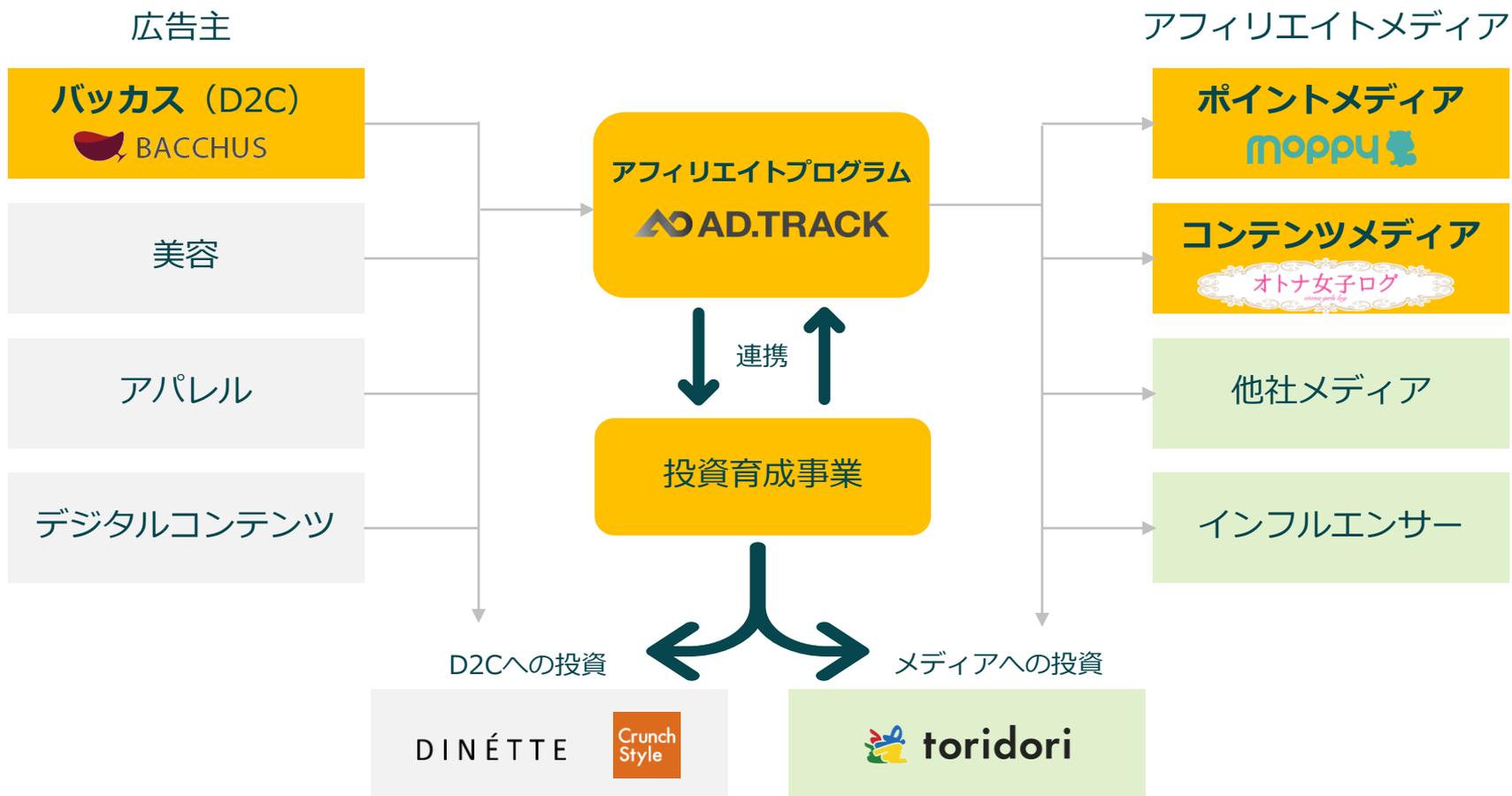
※メインで貯めているポイントサービス1つを選択

(★)ポイントサイト、モニタサイト

出典元：株式会社GV、@DIME掲載（2020年9月5日付）

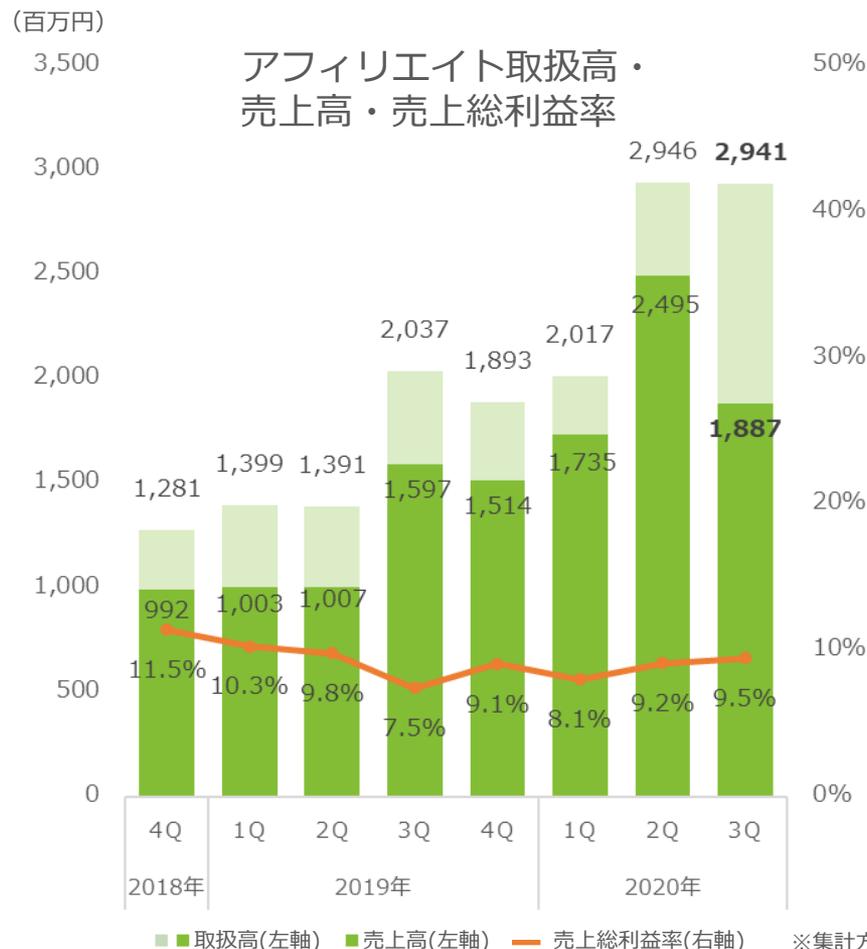
アフィリエイトプログラムについて

自社メディアの媒体力を活かしアフィリエイトプログラムを拡大
投資育成事業と連携しD2C・メディア系ベンチャーへ投資し事業提携

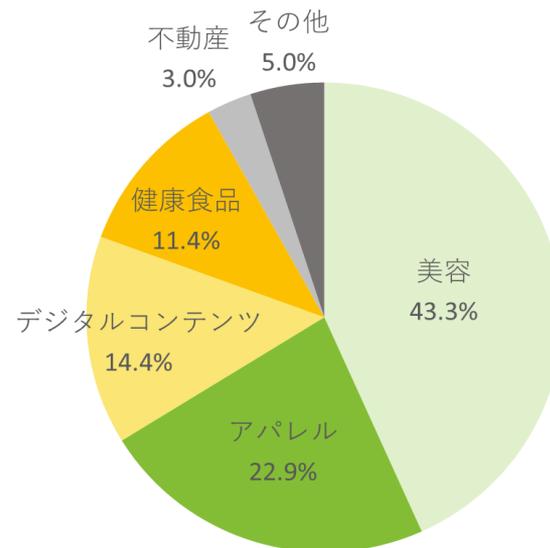


アフィリエイトプログラムの業績推移

売上は前年同期比18.1%増、取扱高は44.4%増と成長を維持
 取扱高の自社メディア比率の高まりにより全社の収益性が改善



アフィリエイト取扱高
 広告主別構成比
 (第3四半期)

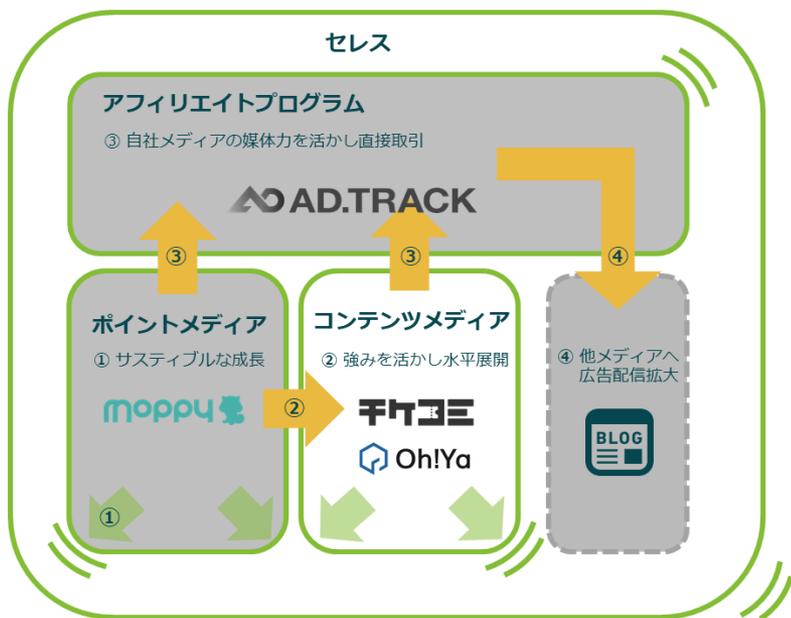


※集計方法の見直しにより、過去決算説明資料で開示していました数字を修正しています。

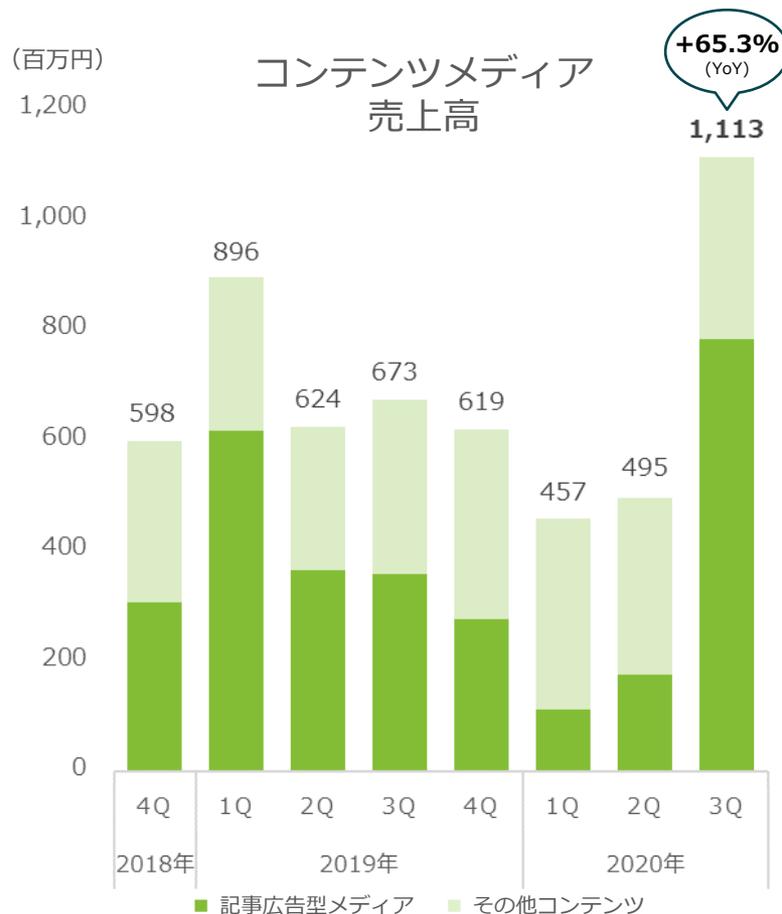
コンテンツメディアについて

記事広告型メディアにおける運用方法の改善で過去最高の四半期売上を達成
一部の美容商材に関する広告取扱いが好調に推移し急拡大

コンテンツメディアの事業背景



- モッピーに次ぐ柱のメディアを創出
- AFメディア運用ノウハウの活用
- AD.TRACKとの連携



※集計方法の見直しにより、過去決算説明資料で開示していました数字を修正しています。

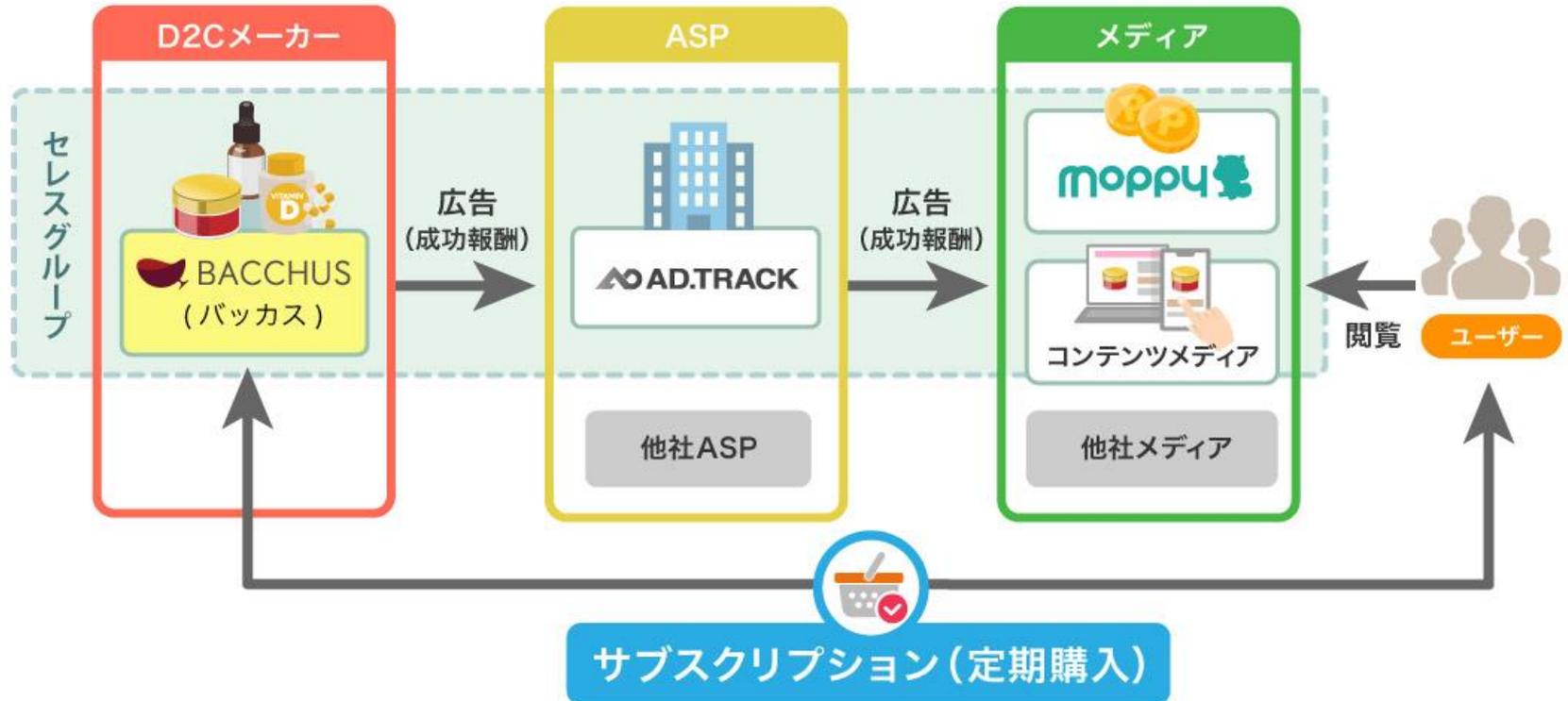
コンテンツメディアの事業戦略

メディア	内容	モデル	主な集客	事業戦略
 モッピー moppu バイト	採用課金型バイト求人サイト	AF	SEO (ロングテール)	コロナの影響が続き採用市場が停滞 採用需要の回復が見込まれる業界に注力
 LookAoo	ゲームアプリ情報サイト	AF	SEM	サイトへの流入減に伴いCV数が落ち込む 対策としてコンテンツ強化を継続
 千仞国三	フリーミアムコミックサイト	課金・AF	会員	競合サイトとの会員獲得競争が激化 獲得プロモーションの強化に取り組む
 オトナ女子ログ	記事広告メディア	AF	運用型広告	継続的な運用方法改善の施策が奏功 美容・健康食品への取り組みを強化
 Oh!Ya	投資用不動産情報サイト	AF	モッピー等	一部クライアントの広告が減少 新規獲得強化により売上の回復を図る
 mochie	注文住宅総合情報サイト	AF	モッピー等	営業強化が奏功し広告主数、単価ともに増加 新規広告主獲得のため営業強化を継続
 資金調達プロ	資金調達情報サイト	AF	SEO (コンテンツ)	中小企業の資金繰り需要は継続して旺盛 トラフィックを活かした広告収入も好調

バックラスについて

D2C（Direct To Consumer）におけるサプリメントと美容製品の販売開始
D2C×サブスクリプション×アフィリエイトで垂直統合モデルに

自社での獲得実績を活かし、サブスクリプションでの自社商材の販売を強化



ゆめみについて

会社概要

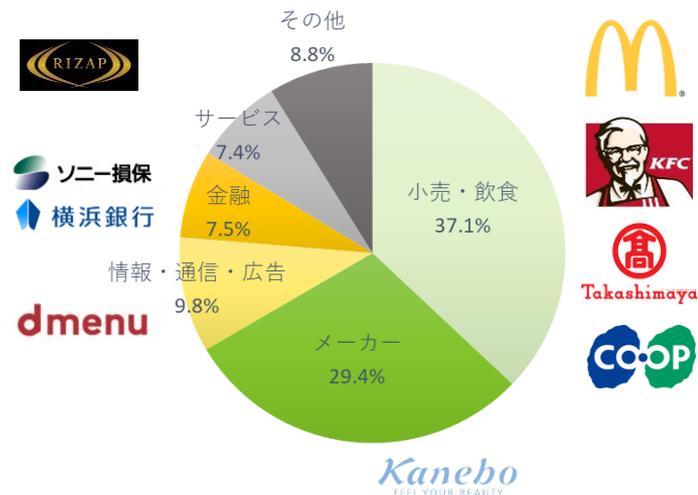
設立年月日：2000年1月27日
決算期：12月
資本金：100百万円
代表者：片岡 俊行
従業員数：239名（2020年9月末現在）
事業内容：企画・開発・コンサルティング
オムニチャネルマーケティング支援
自社サービス運営
2016年 セレス資本業務提携
2018年 セレス連結子会社化

BnB2C

- 企業の方針／戦略を共有し対等な関係で企画
- エンドユーザー向けのネットサービス展開

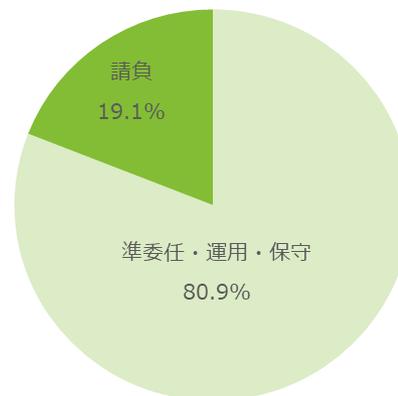


顧客業種別割合(3Q累計)



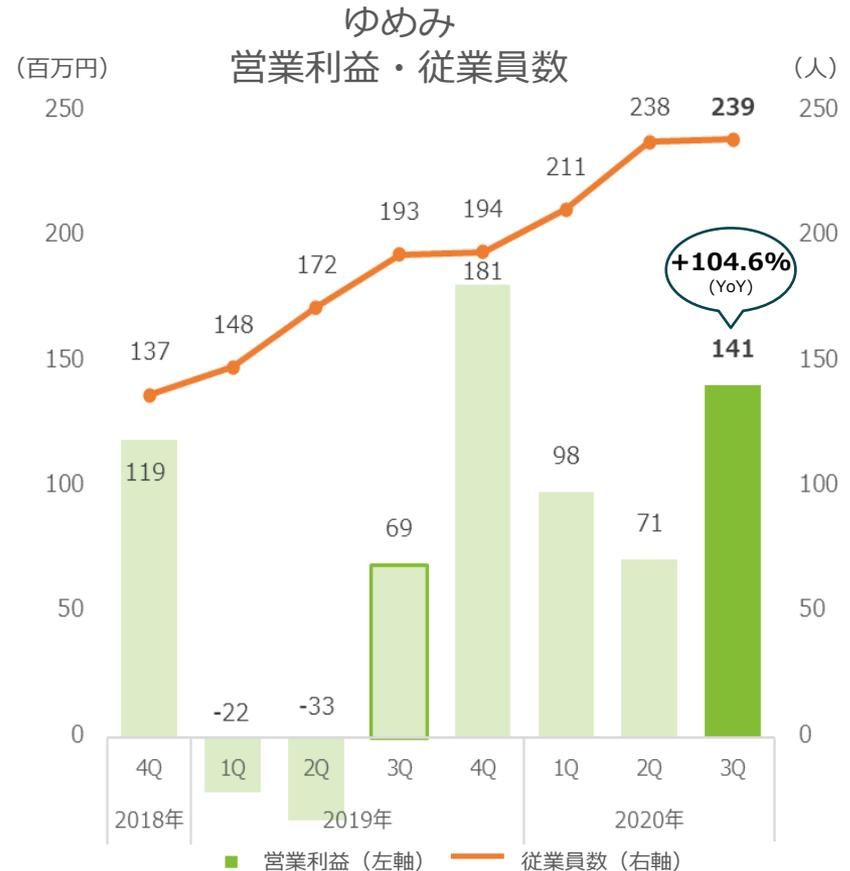
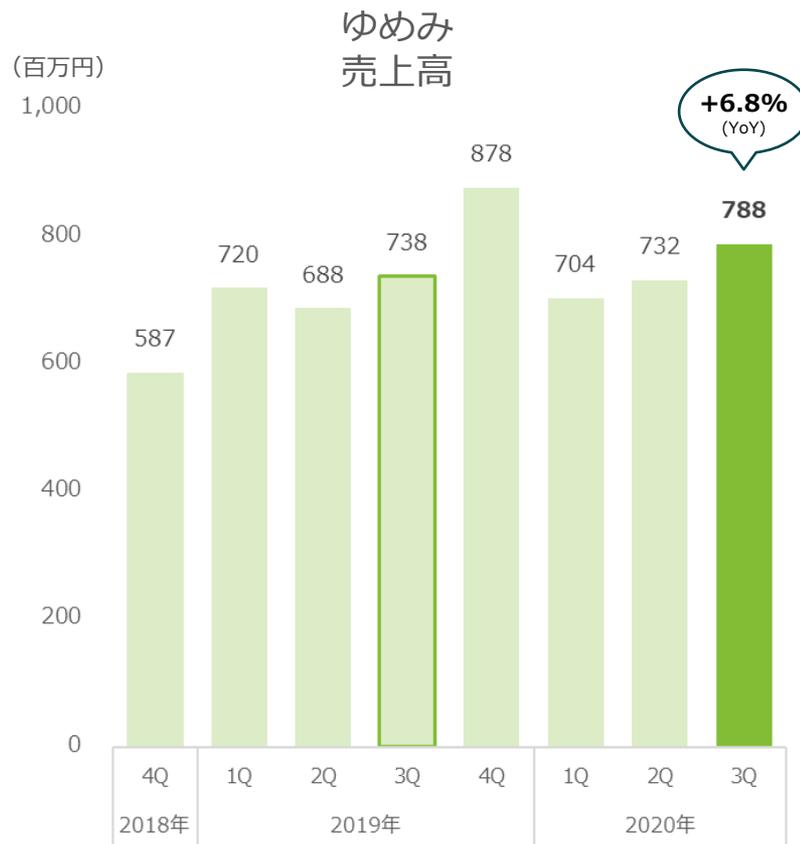
2020年セグメント別売上高 (3Q累計)

準委任・運用・保守の割合は上期より更に増加



ゆめみの業績推移

売上高は準委任・運用・保守の割合増加に伴い堅調に推移
低下していた稼働率が向上し営業利益は前年同期比104.6%増

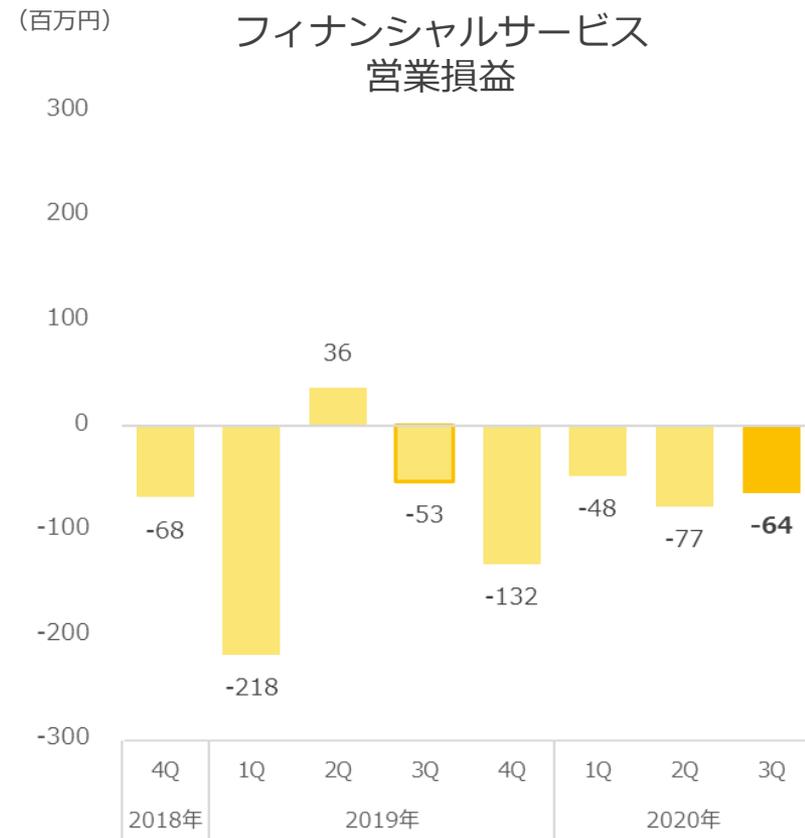
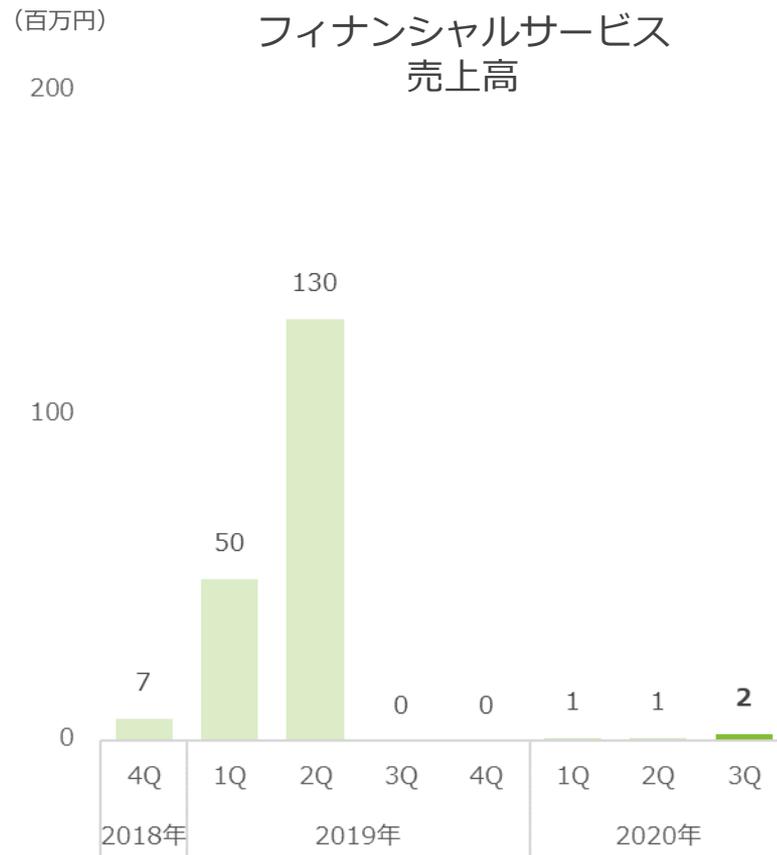


※公表数値については、連結前の単体数値で表記しています。

※2020年1Qから、連結子会社四季デザインの従業員数を含んでいます。



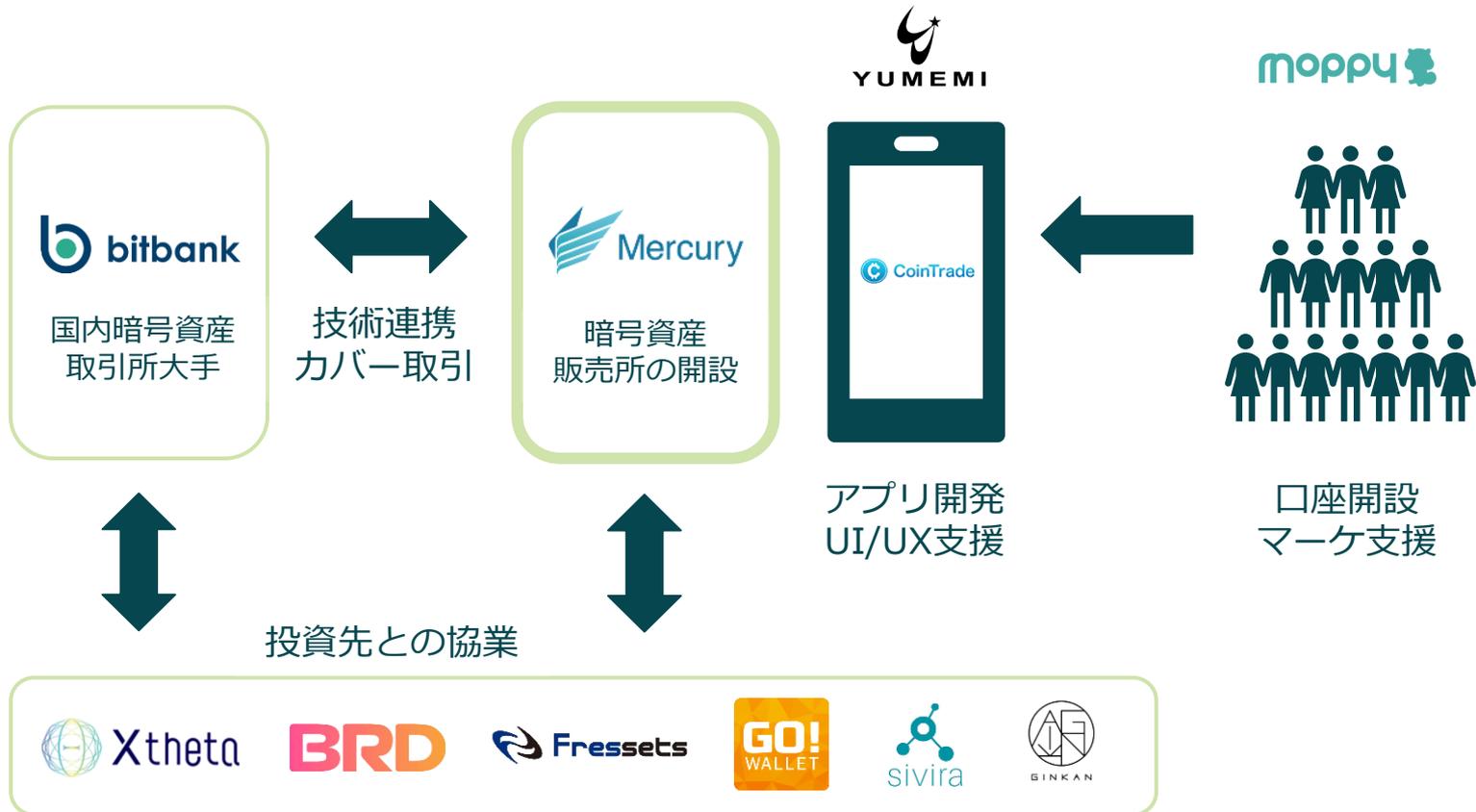
暗号資産販売所開業に向けマーキュリーへの投資を継続 64百万円の営業損失



セレスにおけるブロックチェーン事業戦略



マーキュリーは今期中の暗号資産交換業の登録完了、来期開業を目指す
ビットバンクでは新規銘柄の上場・販売所の開始により事業拡大を加速





D2C・ブロックチェーン関連を中心にセレスとの協業を前提に投資
第3四半期はD2Cなど3件1.6億円の投資を実行

(2020年9月末)



モバイルサービスと連携

メディア・D2C関連

DINÉTTE Waqoo SYRUP Crunch Style
toridori Pink Coffee communitio flicfit

フィナンシャルサービスと連携

フィンテック・ブロックチェーン関連

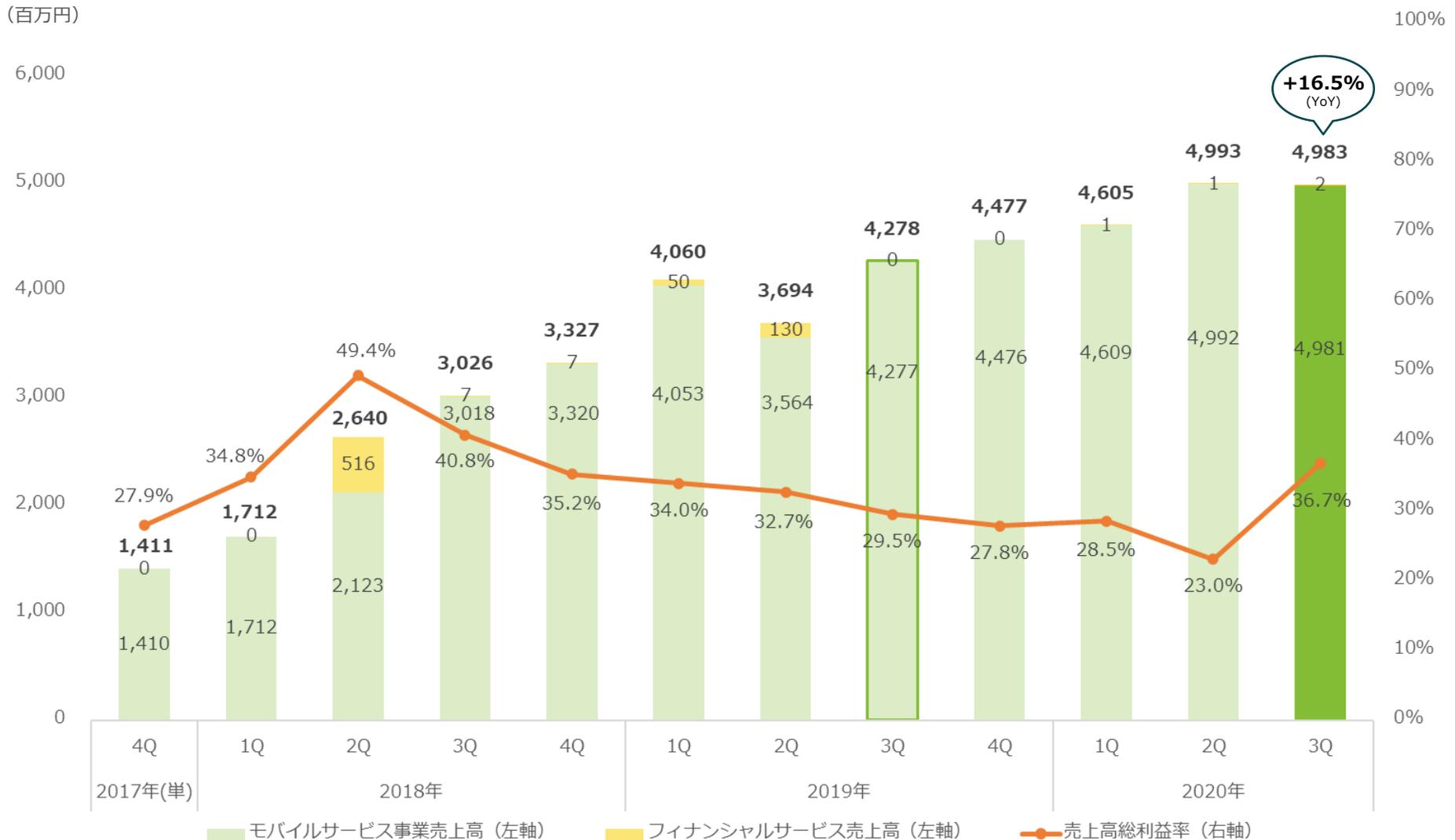
CAMPFIRE Xtheta Fressets SmartApp
IT Realize SIVIRA BRD GINKAN



4. APPENDIX

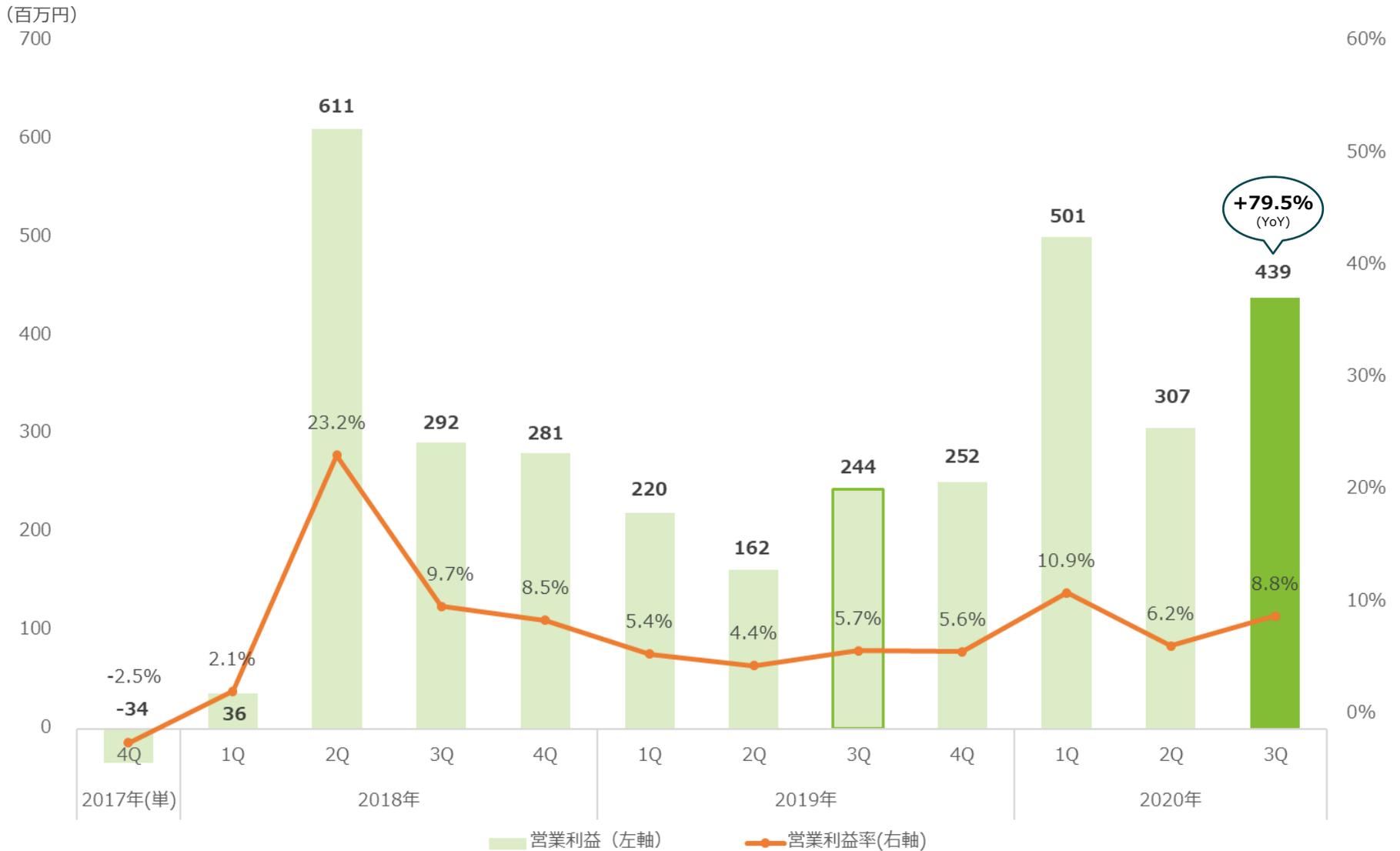
※集計方法の見直しにより、過去決算説明資料で開示していました数字を修正しています。

四半期売上高推移

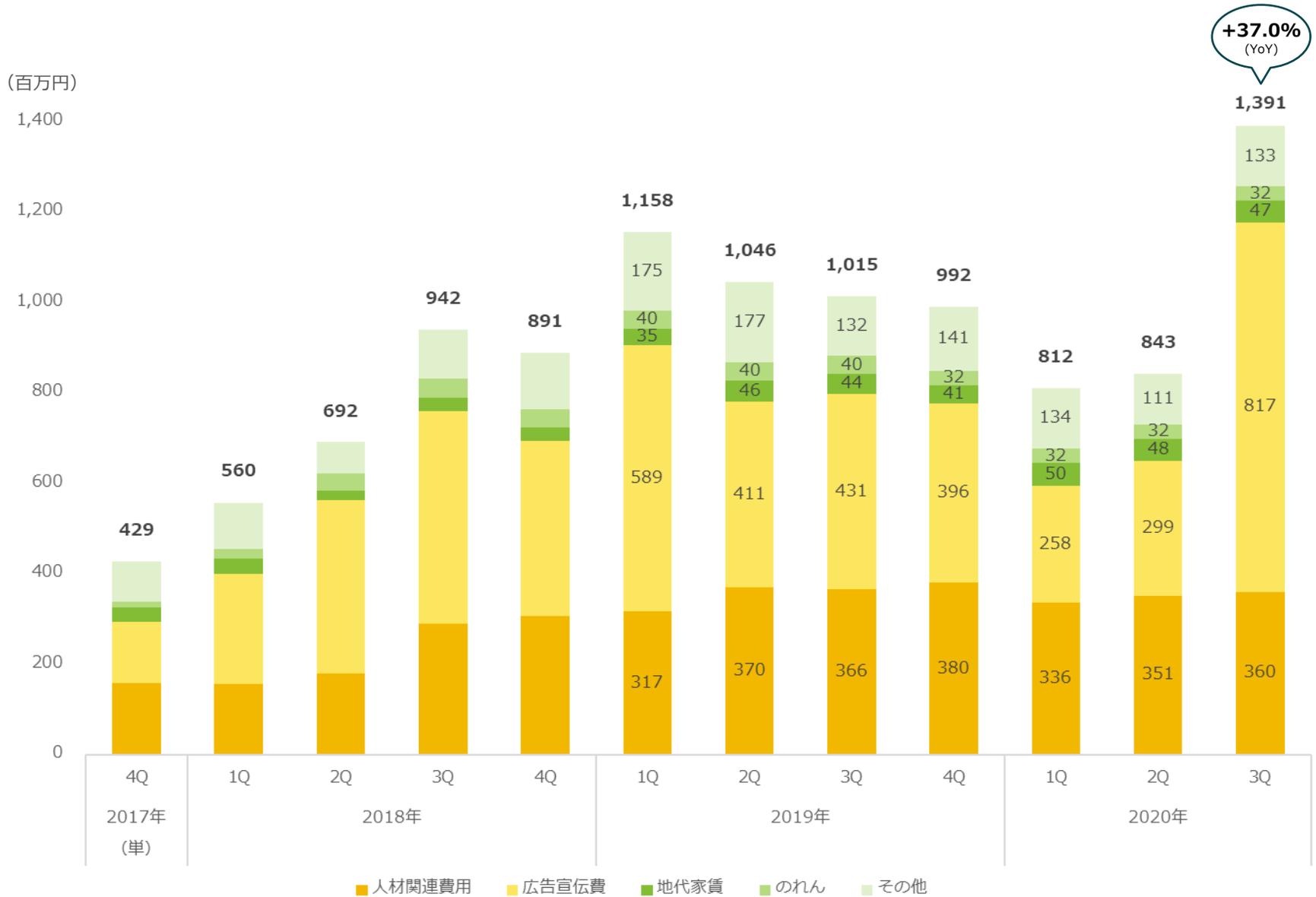


※セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

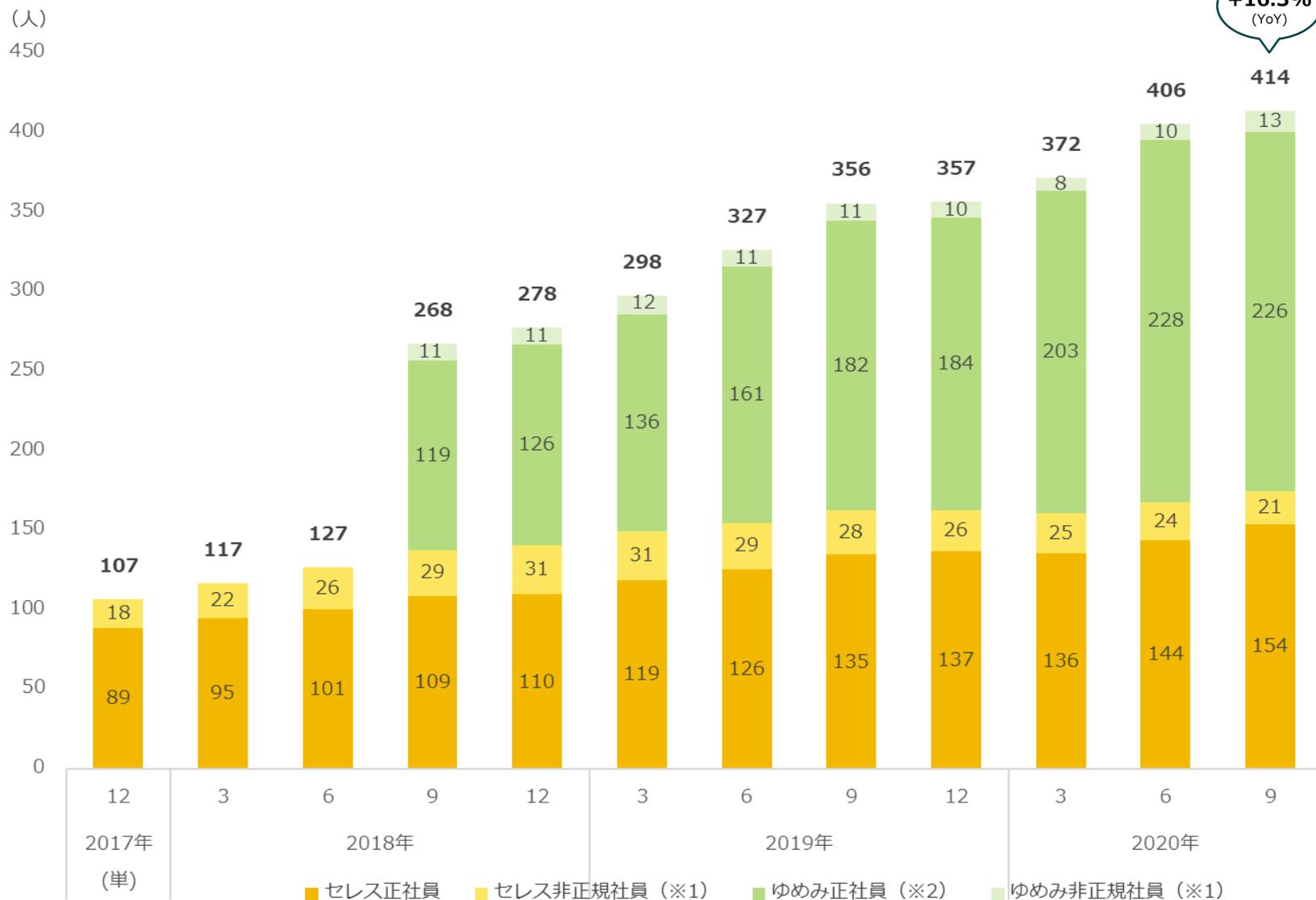
四半期営業利益推移



四半期販売費及び一般管理費推移



従業員数推移



+16.3%
(YoY)

※1：契約社員、派遣社員、アルバイト

※2：2020年3月末より、連結子会社四季デザインの従業員数を含んでいます。

業績ハイライト

四半期売上高

(単位：百万円)	2018年				2019年				2020年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	1,712	2,640	3,026	3,327	4,060	3,694	4,278	4,477	4,605	4,993	4,983
モバイルサービス事業	1,712	2,123	3,018	3,320	4,053	3,564	4,277	4,476	4,609	4,992	4,981
ポイントメディア	1,009	974	967	1,142	1,433	1,275	1,269	1,470	1,711	1,268	1,192
アフィリエイトプログラム	361	590	804	992	1,003	1,007	1,597	1,514	1,735	2,495	1,887
コンテンツメディア	341	558	712	598	896	624	673	619	457	495	1,113
ゆめみ	-	-	532	586	719	657	737	872	704	732	788
フィナンシャルサービス事業	0	516	7	7	50	130	0	0	1	1	2
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-43	-	-	-	-6	-1	-0

四半期営業利益

(単位：百万円)	2018年				2019年				2020年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業利益	36	611	292	281	220	162	244	252	501	307	439
モバイルサービス事業	171	279	500	492	607	307	485	604	742	578	732
フィナンシャルサービス事業	-7	460	-83	-68	-218	36	-53	-132	-48	-77	-64
調整額	-128	-128	-125	-142	-169	-182	-187	-218	-192	-193	-227

1株当たりの配当額

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
1株当たりの配当額	8円	12円	14円	14円	18円（予）

2020年12月通期業績が好調に推移することが予想されることを踏まえ、当初予想の14円より4円増配し、1株当たり18円00銭の配当を実施する予定です。

自己株式の取得状況

自己株式の取得状況 (2020年9月30日現在)	
取得した株式の総数	75,000株
株式の取得価額の総額	101,005,000円

<ご参考> 取得期間 (2020年3月25日～2021年3月24日)	
取得し得る株式の総数（上限）	500,000株
株式の取得価額の総額（上限）	300,000,000円



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。